

平成 30 年(2018 年)10 月 10 日

保護者の皆様

札幌市立新琴似北小学校
校長 小笠原 啓之

全国学力・学習状況調査の結果について

秋涼の候、保護者の皆様には日頃より本校の教育活動に御支援をいただき感謝申し上げます。

さて、4 月に 6 年生を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」について、結果の概要及び改善の方向について御報告いたします。

国語

教科に関する調査結果の概要と改善の方向性について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分および領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <p>「話すこと・聞くこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度である。 <p>「書くこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 <p>「読むこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 <p>「言語事項」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 <p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <p>「話すこと・聞くこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 <p>「書くこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 <p>「読むこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 	<p>「話すこと聞くこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ●話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べて考えを話すこと。 <p>「書くこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考えること。 <p>「読むこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと。 <p>「言語事項」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。 	<p>「話すこと聞くこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相手と自分の意見を比べて、共通点や相違点などを具体的に明示しながら話すことができる指導の充実。 <p>「書くこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ●構成を工夫することのよさや大切さを自覚し、自身の作文に生かしていくことができる指導の充実。 <p>「読むこと」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ●必要な叙述を選び、他の部分に書かれている叙述と比べたり、自分の考えと関係付けたりすることができる指導の充実。 <p>「言語事項」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ●漢字を正しく読み、正しく書き、文章の中で使うことができる指導の充実。

算数

教科に関する調査結果の概要と改善の方向性について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【区分および領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <p>「数と計算」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、下回っている。 <p>「量と測定」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 <p>「図形」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、上回っている。 <p>「数量関係」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度である。 <p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <p>「数と計算」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 <p>「量と測定」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 <p>「図形」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、上回っている。 <p>「数量関係」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 	<p>「数と計算」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いること。 <p>「量と測定」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●180度や360度を基に角度器を用いて、180度よりも大きい角の大きさを求めること。 <p>「図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●敷き詰め模様の中から図形を見だし、その構成要素や性質を基に、一つの点の周りに集まった角の大きさの和が360度になっていることを記述すること。 <p>「数量関係」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●折れ線グラフから変化の特徴を読み取ること。 	<p>「数と計算」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●問題場面の数量の関係の理解や計算の意味の理解を基に、演算決定することができる指導の充実。 <p>「量と測定」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●見当を付けること、測定すること、測定の結果を振り返って確かめることの各活動を関連付けて、角の大きさを正しく測定することができる指導の充実。 <p>「図形」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●図形の構成要素や性質を基に、筋道を立てて考え、事柄が成り立つことを説明することができる指導の充実。 <p>「数量関係」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●グラフの特徴を基に、複数の観点で観察したり表現したりすることができる指導の充実。

理科

教科に関する調査結果の概要と改善の方向性について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 「物質」に関して ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 「エネルギー」に関して ・全国平均とほぼ同程度である。 「生命」に関して ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「地球」に関して ・全国平均とほぼ同程度である。	「物質」 ●物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩水に適用すること。 「エネルギー」 ●電流の流れ方について、得られる結果を見通して実験を構想すること。 「生命」 ●人の腕が曲がる仕組みを模型に適用すること。 「地球」 ●調べた気象レーダーや雲画像などの複数の情報を関係付けながら、分析して考察すること。	「物質」 ●実験結果を基に、問題に正対したために改善できる指導の充実。 「エネルギー」 ●実験結果の見通しを伴った解決の方向性を構想できる指導の充実。 「生命」 ●学習を通して獲得した知識を実際の自然や日常生活に適用できる指導の充実。 「地球」 ●複数の情報を関係付けながら多面的に分析して考察できる指導の充実。

【生活習慣や学習環境等に関する調査の結果】

- 「学校のきまりを守っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計はそれぞれ92%と97%で、全国の90%、95%をどちらも上回っています。本校児童は、規範意識が高く、「人の役に立ちたい」と前向きな考えをもっていることが分かります。
- 「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」については「している」「どちらかといえば、している」と答えた子が76%で全国の63%を、「家庭学習で教科書を使いながら学習していますか」については「している」「どちらかといえば、している」と答えた子が74%で全国の70%をどちらも上回っています。学習に向かう姿勢が意欲的であると言えます。